

長崎の黒い雨

長崎原爆が投下されると爆心地に巨大な原子雲が発生し、同心円状に広がりながら風速3mの西風によって東方へ流れました。



被爆体験者が記憶をもとに描いた絵。旧戸石村より長崎市街を望む。

夜ではありません。
原爆投下の約1時間後の
真昼の情景です。
空が真っ黒になり、太陽が
梅干のように赤黒く宙に浮
いていた。空から灰やごみ
が沢山ふってきた。
空に浮かんでいるのは観
測用ラジオゾンデをつるし
たパラシュートです。

被爆未指定地域を含む、長崎の広い範囲で黒い雨が降り、放射能を含んだ灰や塵が降下しました。それらの地域で米国マンハッタン調査団により原爆由来の放射線が検出されています。2011年の土壌調査では被爆未指定地域においても原爆由来のプルトニウムが確認されています。

長崎黒い雨マップ

長崎県保険医協会作成

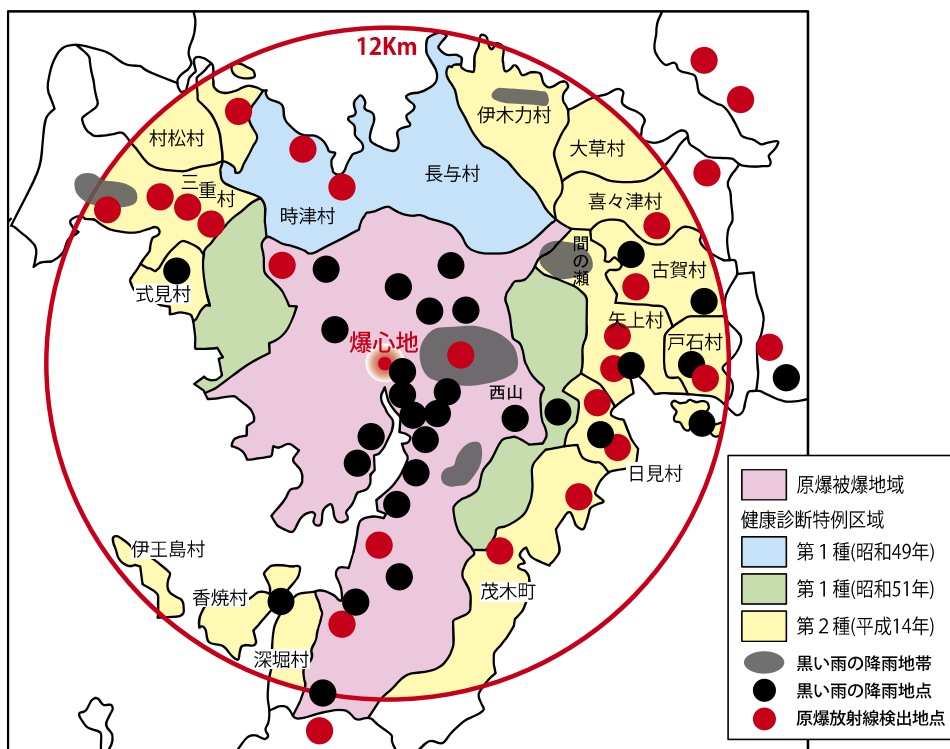
被爆未指定地域の住民は放射能で汚染された水を飲み、作物を食べて生活しました。広島黒い雨地域の住民と何ら違うところはありません。

拡散してください!!

インターネットで
署名用紙をダウン
ロードできます



インターネットでも
署名できます



(参照) 黒い雨地点：2011年放射線影響研究所公開資料「雨」の回答地点
長崎市作成原爆被爆地域図 長崎県保険医協会聞き取り調査
原爆放射線検出地点：1945年米国マンハッタン調査団最終報告書

内閣総理大臣 菅 義偉 殿
厚生労働大臣 田村 憲久 殿
長崎県知事 中村 法道 殿
長崎市市長 田上 富久 殿

全ての被爆体験者に速やかに被爆者健康手帳を交付してください

菅首相は広島「黒い雨」訴訟の広島高裁の判決に上告しないことを表明し、原告に被爆者健康手帳が交付されました。

さらに首相談話の中で「84名の原告の皆さまと同じような事情にあった方々については、訴訟への参加・不参加にかかわらず、認定し救済できるよう、早急に対応を検討します。」と述べました。

長崎の被爆体験者も原爆の黒い雨や灰を浴び、放射能に汚染された水や食物を飲食した事情は広島と全く同じです。

田上市長、中村知事は平和祈念式典で被爆体験者の救済を訴えましたが、菅首相は言及を避けました。

被爆体験者は高齢化し、様々な疾患で医療機関、介護施設の利用を余儀なくされています。一日も早く全ての被爆体験者を被爆者と認定し、被爆者健康手帳を交付してください。

| 氏 名 | 住 所 (番地まで記入してください) |
|-----|--------------------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

取り扱い団体 (連絡先) 長崎県保険医協会

〒850-0056長崎市恵美須町2-3フコク生命ビル2階 (電話)095-825-3829